

「拉致問題人権学習会」

県では、広く県民の皆さんに北朝鮮当局による拉致問題について理解を深めていただくため、学校、職場、地域等で開催される学習会へ講師を派遣しています。

どうぞ、お気軽にお申し込みください。

学習会の内容

◆ 県からの概要説明

◆ 啓発ビデオの視聴

「拉致 私たちは何故、気づかなかったのか!」のご紹介



横田めぐみさんの母親・早紀江さんが想い続けてきたこと、心の叫びを、これまで蓄積された映像資料や撮りおろしインタビューで構成する34分のドキュメンタリーです。

◆ 拉致被害者御家族、支援者のメッセージ(講演) など

※上記は一例であり、御希望に応じます。

家族の絆を大切にしてほしい

～松本孟さん(米子市出身の拉致被害者・松本京子さんの兄)のメッセージ

妹は、ごく当たり前の生活をしてきた平凡な女性でした。しかし、他の国に非人道的に連れて行かれ、今日まで消息もわかりません。皆さんの家族が同じ被害にあった場合のことを想像してみてください。35年を超える私たちの苦しみを感じていただけるのではないのでしょうか。

皆さんには、家族と過ごすことをあたりまえと思わず大切にしてほしい。家族で一緒に過ごすことの幸せを考えてほしい。

そして、皆さんが被害者や残された家族の気持ちを理解し、拉致問題に関心を持ち続けくださることが、私たちの大きな支えになります。

申込方法

実施団体の名称、代表者氏名、連絡先、希望日時、場所、参加人数を下記へお知らせください。

なお、申し込みは、郵便、電話、ファクシミリ、電子メールのいずれでもかまいません。

その他

▶ 申込みが出来るのは？

参加人数が概ね10人以上の集会で、学校、地域住民、企業、民間団体などが開催されるものが対象となります。ただし、宗教団体、政治団体は除きます。

▶ 開催時間や会場は？

原則として、申し込まれる団体等のご希望に合わせます。1回の実施時間は、1時間から1時間30分程度です。会場は、お申し込み団体等でご準備ください。

▶ 料金は？

無料です。ただし、会場費用がかかる場合は、お申し込み団体等でご負担ください。

【申込先】 鳥取県 総務部人権局 人権・同和对策課

所在地: 〒680-8570 鳥取市東町1-220

電話: 0857-26-7590 ファクシミリ: 0857-26-8138

電子メール: jinken@pref.tottori.jp

HPアドレス: <http://www.pref.tottori.lg.jp/rachi/>

※募集ちらしは、上記ホームページからもダウンロードできます。



らち 拉致問題について

■北朝鮮当局による拉致問題の概要

1970年代から1980年代にかけて、多くの日本人が不自然な形で姿を消しました。これらの事件の多くには、北朝鮮当局により拉致(注)された疑いが持たれています。日本政府は、17名を拉致被害者として認定していますが、この他にも拉致された可能性を否定できないケースがあります。

(注)工作員の身分偽装や教育係として利用するため強制的に連れ去ること

2002年9月に北朝鮮が日本人拉致を初めて認め、同年10月に5人の拉致被害者が帰国しましたが、他の被害者については、未だ北朝鮮から安否に関して納得のいく説明がありません。

■拉致問題の解決は国民的課題

北朝鮮当局による拉致は、誰でも突然連れ去られる可能性があった事件であり、拉致被害者や家族だけの問題ではなく、国民すべての課題と言えます。私たちも、自由と生命・身体の安全や家族の大切さを再確認すべきではないでしょうか。

また政府は、この問題の解決に向けて取り組んでいます。解決を願う国民の声が、大きな国際世論となり、松本京子さんをはじめとする拉致被害者の早期帰国への大きな力となります。

県民の皆さんのご支援をお願いします。

鳥取県内の拉致被害者等

■政府認定拉致被害者

- 1 **松本京子さん** (米子市出身、当時29歳) : 1977(昭和52)年10月21日、自宅近くの編み物教室に向かったまま行方不明



松本京子さん

■特定失踪者

※特定失踪者問題調査会(民間団体)の公表資料による

- 2 **古都瑞子さん** : 1977(昭和52)年11月14日、普段着で出かけたまま行方不明。自宅には旅行の切符やポケベルも置いたまま。
- 3 **矢倉富康さん** : 1988(昭和63)年8月2日、一人で出漁して行方不明。元精密工作機械製作のエンジニアであった。
- 4 **上田英司さん** : 1969(昭和44)年11月4日、「京都に行ってくる」と東京の下宿家主に言ったまま行方不明。荷物は紙袋一つ。

【失踪位置図】



■拉致の可能性を排除できない人

※鳥取県警察本部の公表による

- 5 **木町勇人さん** : 1975(昭和50)年8月25日、京都府宇治市の下宿先を出て以降行方不明。

拉致問題の主な動き

1970年代～80年代	多くの日本人が不自然な形で行方不明
2002(平成14)年 9月	第1回日朝首脳会談。北朝鮮は日本人の拉致をはじめて認めて謝罪
10月	5名の被害者が帰国
2003(平成15)年 1月	政府は拉致被害者支援法に基づく拉致被害者として15名を正式認定
2004(平成16)年 5月	第2回日朝首脳会談。拉致被害者の御家族5名が帰国
2006(平成18)年11月	政府が、松本京子さんを拉致被害者として認定(17人目)
2008(平成20)年 6月	日朝実務者協議。北朝鮮が拉致問題は「解決済み」との立場を変更し、再調査を約束
8月	日朝実務者協議。北朝鮮がすべての拉致被害者の調査を秋終了を目標に行うことで合意
9月	北朝鮮が、日本の新政権の北朝鮮政策を見極めるまで調査委員会の設置を延期すると通告
2012(平成24)年 11月	日朝政府間協議(モンゴル・ウランバートル)。拉致問題について協議継続で一致
2014(平成26)年 3月	日朝政府間協議(中国・北京)。拉致問題について協議継続で一致
5月	日朝政府間協議(スウェーデン・ストックホルム)。拉致被害者及び拉致の疑いが排除できない行方不明者の方々を含む全ての日本人に関する包括的かつ全面的調査の実施合意
7月	北朝鮮の「特別調査委員会」による調査開始
9月	日朝政府間協議(中国・瀋陽)。北朝鮮は平壤への日本担当者の派遣を提案
10月	日本代表団平壤訪朝。北朝鮮特別調査委員会との協議
2016(平成28)年 2月	北朝鮮による核実験・ミサイル発射を受け、日本政府は制裁を強化。北朝鮮は再調査の中止を表明